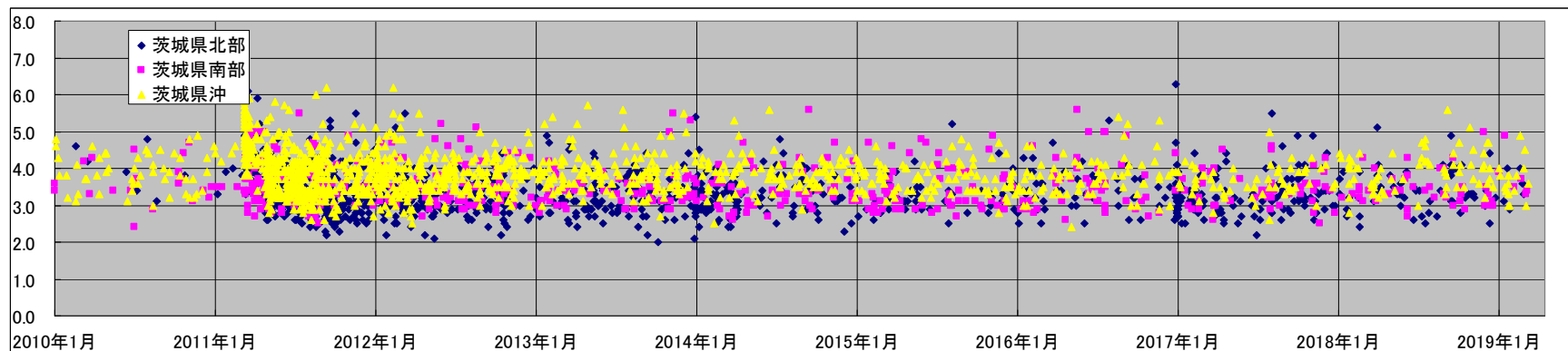


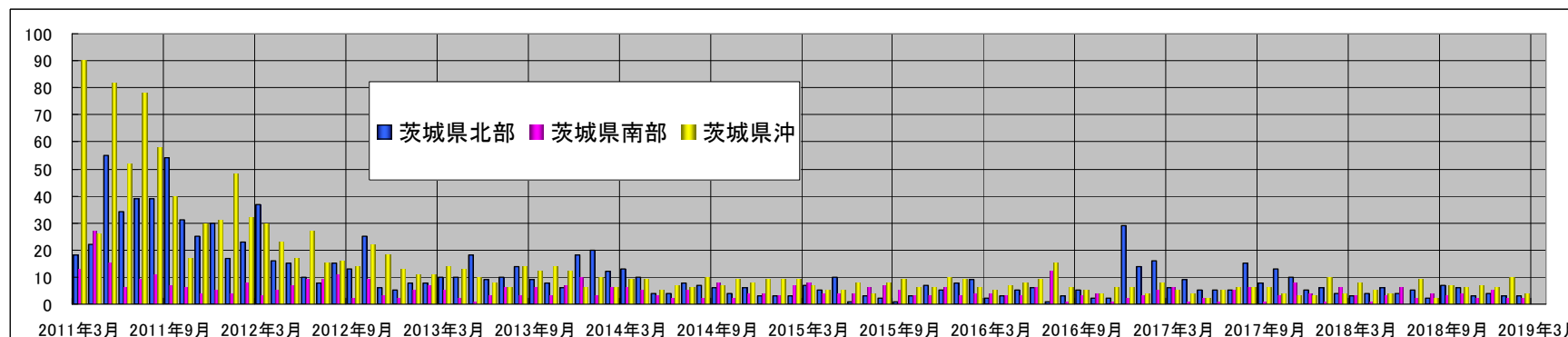
茨城県と茨城県沖を震源とする地震

作成 2019/03/11



注 1. 本資料は気象庁が発表しているデータを基に作成したグラフです。なお、震源域とした茨城県沖の定義については調査していません。

注 2. 縦軸はマグニチュード、横軸は日付で 2010 年 1 月 4 日を起点としましたが、この日の選定には意味がありません。



注 3. このグラフは 3.11 以降の月ごとの地震発生回数を表しています。縦軸は一ヶ月の地震発生回数の単なる総和です。

政府の地震調査委員会は（2019 年 2 月）26 日、東北地方の太平洋沖で起こる海溝型地震について今後 30 年間で起こるマグニチュード 7 クラス以上の地震の長期予測を発表しました。宮城県沖が 90% で茨城県沖はなんと 80% です。「評価には震災後のプレート間の動きを調べた結果などを反映した。プレート同士がすべって動く場所とくっついている場所が入り交じり、地震が起こりやすくなっていることなどを考慮した。」とのことです。